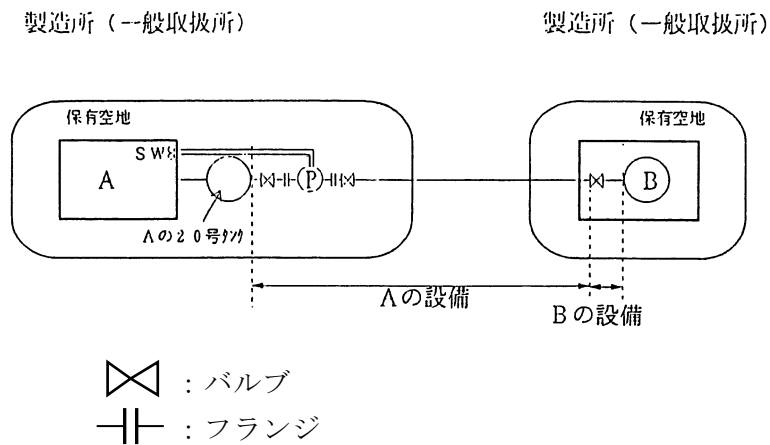


配管及び配管に接続される設備の範囲例

危険物を取り扱う配管及び当該配管に接続される設備は、ポンプ設備、弁、継手等により配管の分岐点を決め、これに基づき製造所等又は指定数量未満の施設（以下「危険物施設等」という。）のいずれかの附属とするものであること。この場合、ポンプ設備にあっては当該設備の操作盤を有する危険物施設等に、戻り配管にあっては当該配管の起点を有する危険物施設等に附属するものであること。

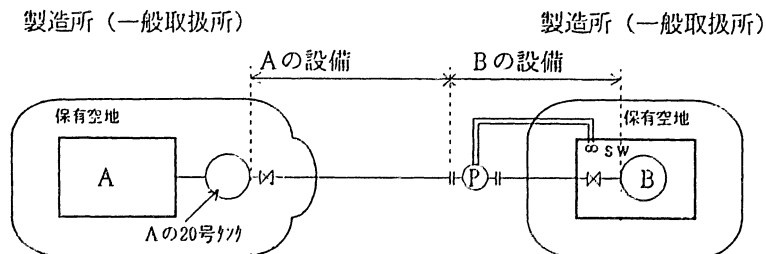
次に、施設相互間に係る配管及び配管に接続される設備の範囲例を示す。

1 製造所又は一般取扱所相互間の場合



保有空地内は、A・Bに附属するそれぞれの設備
ただし、配管については危険物の流れ方向を起点とし弁を分岐点とする

第 1 - 3 - 1 図

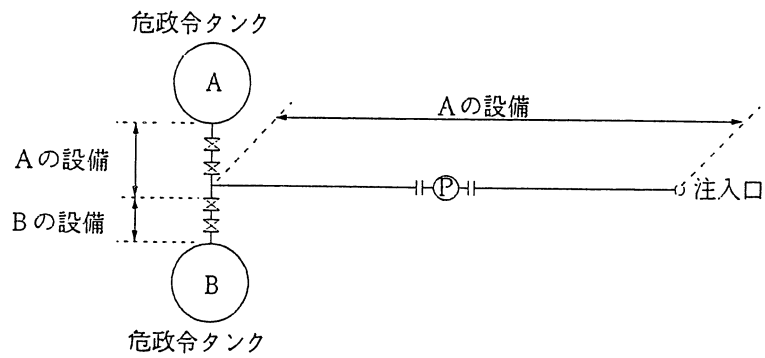


保有空地内は、A・Bに附属するそれぞれの設備
ただし、配管については危険物の流れ方向を起点としポンプ設備を分岐点とする

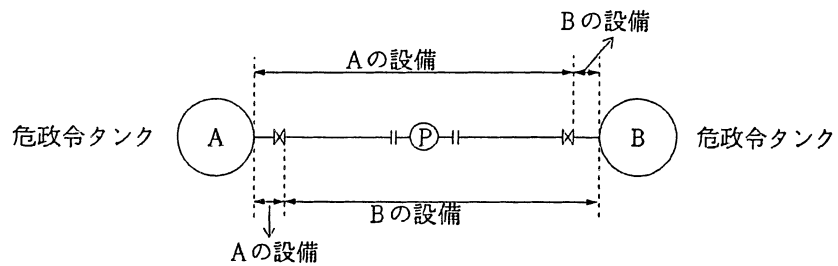
第 1 - 3 - 2 図

第 1 - 3 配管及び配管に接続される設備の範囲例

2 危政令タンク（危政令で定める貯蔵タンクをいう。以下同じ。）相互間の場合

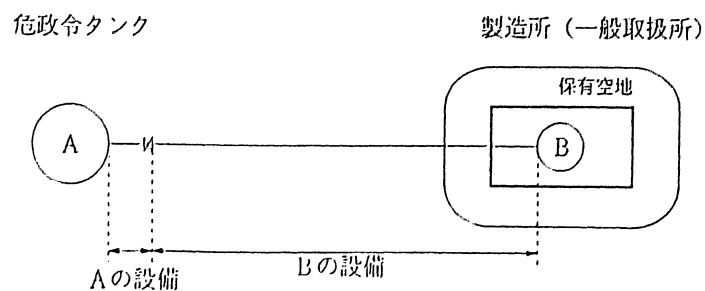


第 1 - 3 - 3 図



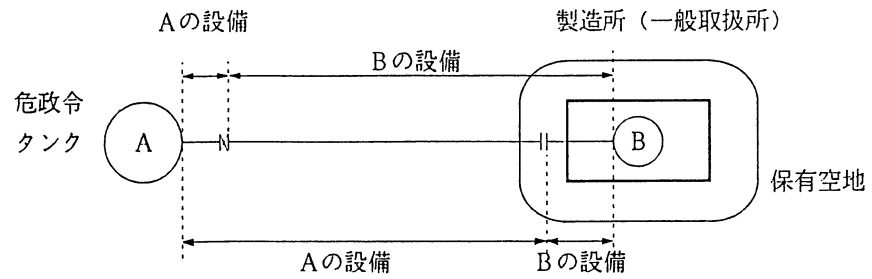
第 1 - 3 - 4 図

3 危政令タンクと製造所（一般取扱所）の場合

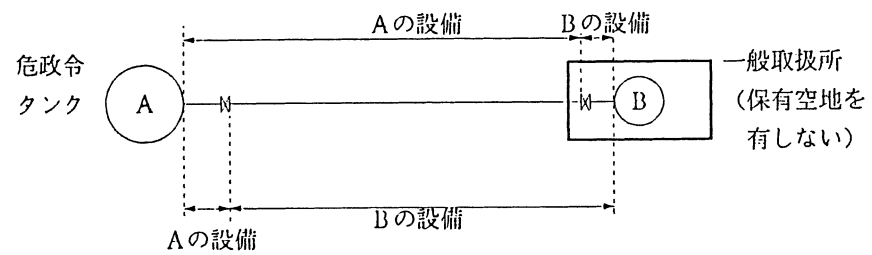


第 1 - 3 - 5 図

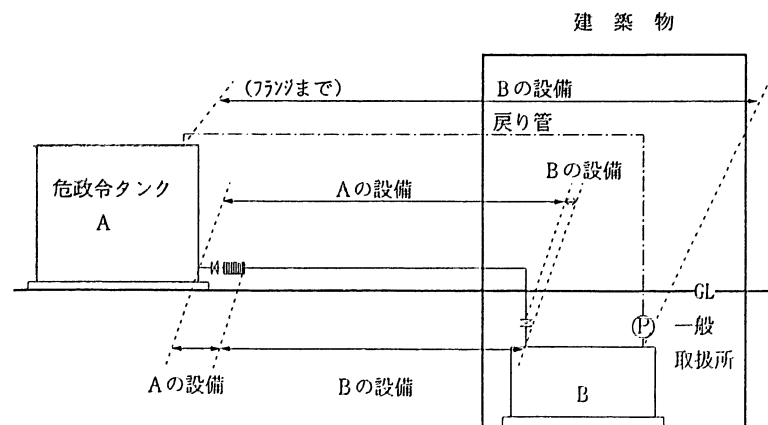
第 1 - 3 配管及び配管に接続される設備の範囲例



第 1 - 3 - 6 図



第 1 - 3 - 7 図

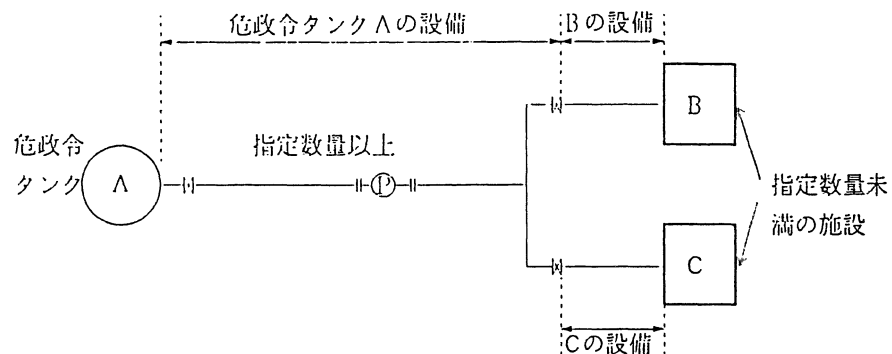


第 1 - 3 - 8 図

第 1 - 3 配管及び配管に接続される設備の範囲例

4 危政令タンクと指定数量未満の危険物施設の場合

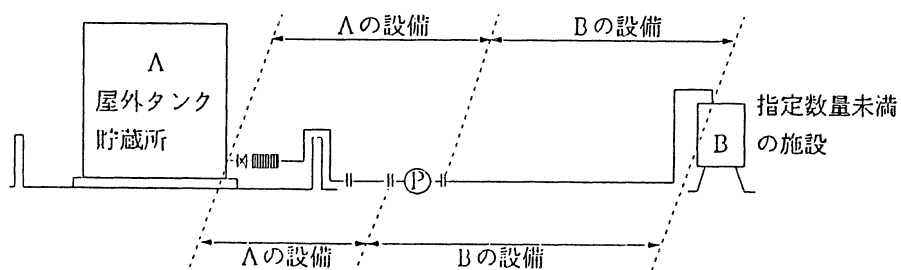
(1) 一日に指定数量以上の危険物が通過する配管及び設備



第 1 - 3 - 9 図

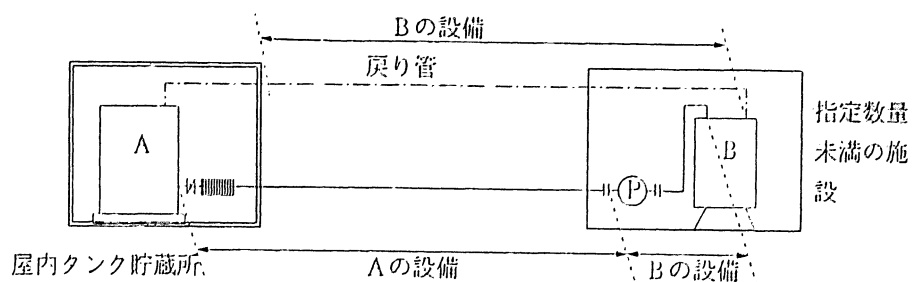
(2) 一日に指定数量未満の危険物が通過する配管及び設備

ア 屋外タンク貯蔵所の場合



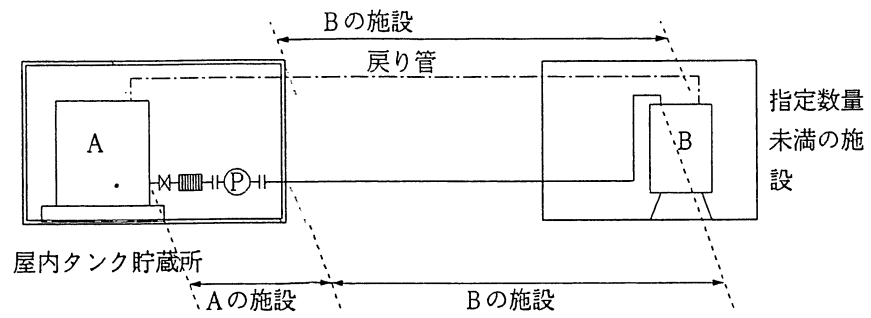
第 1 - 3 - 10 図

イ 屋内タンク貯蔵所の場合



第 1 - 3 - 11 図

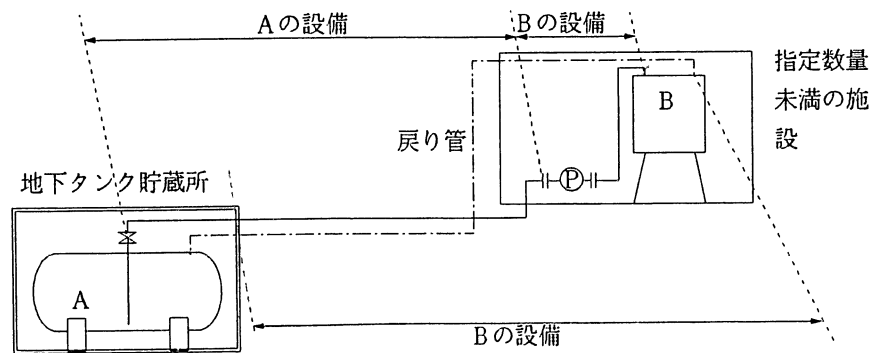
第 1 - 3 配管及び配管に接続される設備の範囲例



専用室の配管はAの設備

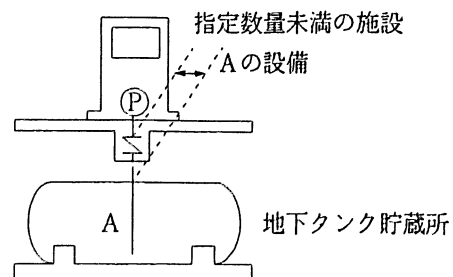
第 1 - 3 - 12図

ウ 地下タンク貯蔵所の場合



埋設配管はAの設備

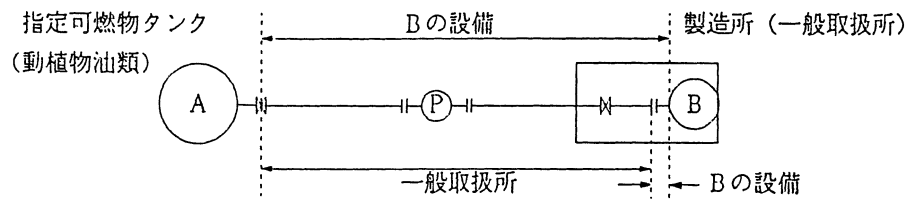
第 1 - 3 - 13図



第 1 - 3 - 14図

第 1 - 3 配管及び配管に接続される設備の範囲例

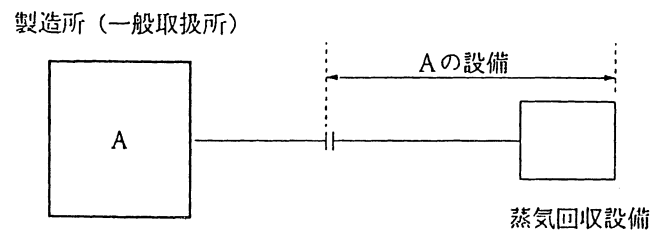
5 製造所（一般取扱所）と指定可燃物タンク（動植物油類）の場合



第 1 - 3 - 15図

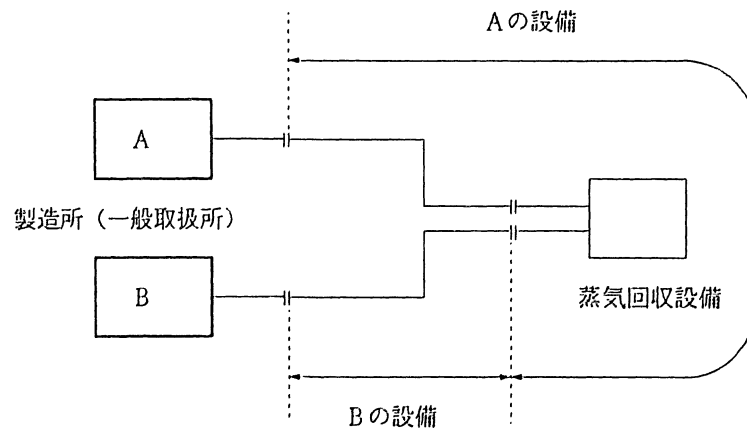
6 製造所（一般取扱所）と蒸気回収設備の場合

(1) 単独施設からの回収



第 1 - 3 - 16図

(2) 二以上の施設からの回収



第 1 - 3 - 17図

(1)、(2)の蒸気回収設備にあっては、規模、形態等により、独立性の強いものは、一般取扱所として規制するものであること。